

全代会の広報誌 ▶ Oct.2024 ◀

Campus

NO.232

議長団特集

▶ CAMPUS.232

▶ 羽ばたけ！全代会構成員
▶ 活動報告

議長団特集

「議長団」は、全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議（以下、全代会）全体の運営をつかさどる。令和6年5月に行われた選挙の結果、令和6年度は議長に3年次の学生が1人、副議長に2年次と3年次の学生が1人ずつ選出された。これからの全代会を導き、未来へつなげていくのはどんな人たちなのだろうか。

（篠崎）



情報科学類3年 近藤拓未

趣味はドラマを見ることです。今季のドラマはもちろん、昔放送していたドラマもサブスクリプションでよく見えています。中でも特に好きなドラマは「ブラックペアン」です。音楽やラジオを聴くことも好きです。ラジオはもっぱらオールナイトニッポンを聴いています。

みなさんこんにちは。令和6年度議長を務めます、情報科学類3年の近藤拓未です。学内行事委員会をはじめ多数の委員会に所属しています。昨年度は、委員会活動だけでなく、「2020年度筑波大学入学式」など全代会主催のさまざまなプロジェクトの中核を担いました。その経験を通じて、大学の諸組織と協力したり、さらにリーダーとして活躍したりしたいと思い、議長に立候補しました。今年1年間を通して、全代会という組織の活動が、想いが、1つでも多く皆さんの手元に届くよう精一杯頑張っていきます。



地球学類3年 澁谷耕大

おはようございます。令和6年度副議長、地球学類3年の澁谷耕大と申します。

現在、情報処理推進特別委員会（I P C）委員長を兼任しており、総務委員会情報部門にも所属しています。これまで、情報技術の持つ力を活用し、全代会、さらには全学へ良いインパクトを与えるよう努力をしてきました。今後副議長として、全代会と各クラス代表者会議との関係性強化、及び全代会、ひいては全学における情報技術の活用をより進めたいと思っています。

趣味として、野外を歩き回って露頭を観察し、そこにある堆積構造や層序が黙して語るその場所の形成の歴史を感じ取るのが好きです。グラデーションのように移り変わる地層はとても面白いと思っています。

露頭…地層・岩石が露出している場所。



国際総合学類2年 桑原佑

所属しているサークルは弓道同好会春霞とLilac - 謎解き制作委員会 - です。弓道をする事で精神統一をしたいと思います。好きなことは Minecraft などのゲームで遊ぶことやカラオケをすることです。

令和6年度全代会副議長、国際総合学類2年の桑原佑と申します。生活環境委員会と新入生歓迎特別委員会に所属しています。昨年度は、学生生活環境の向上と全代会活性化のための内部規則改善を目指し活動してきました。その活動の中で、私が気づいたのは学生と大学教職員の「溝」です。この溝を埋めるため、今年度は副議長として制度整備を推し進め、全代会が学生と大学教職員間の「架け橋」になるよう努めます。

羽ばたけ！全代会構成員



昨年度の全代会の特徴として、従来よりも幅広い活動を行ってきたことが挙げられる。具体的には、「海外研修」の実施や、新型コロナウイルス感染症の拡大により対面での入学式が実施されなかった2020年度入学生のための「2020年度入学式」の開催が挙げられる。「これまで」の全代会に何があつて、それが「このさき」の全代会にどうつながっていくのか。本特集では、各活動に携わった人に対しインタビューを行った。

（篠崎）

2020生入学式

「2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行によって入学式を挙行できなかった。感染拡大が落ち着いた今、先輩方に感謝の気持ちを伝えるため、2020年度筑波大学入学式を実現したかった」と林凛太郎前議長（社会工学類4年）は話す。取材では、この式典に掛けた思い、やりがいを感じた瞬間を聞く。

2020生への感謝

2020年度入学生にどのような場面でお世話になったのかを聞いたところ、「2020年度入学の2022年度副議長が、自分に議長を勧めてくださったことがきっかけで議長という特別な経験ができた。このことは感謝してもきれない。加えて、自分は総合学域群の第1期生だった。そのため、学群の新歓団体が存在せず、2020年度入学の有志の先輩方が新歓をしてくださり、今でも良い思い出になっている」と語った。

イベントを終えて

この式典を開催するのはかなり大変だったという。「イベントの運営経験が乏しかったため、計画の策定や進捗管理などが難しかった。加えて、準備を進めていくと、当初思い描いていた卒業生同士が交流し合う和やかな入学式から、厳かな入学式へと方向転換した。そのため、臨機応変にタスクを遂行していくことが大変であった」と明かす。「しかし、開催こそ大変だったものの、多くの人の笑顔や2020生から『報われた』『まさか今できるとは思わなかった』などの感謝の言葉を貰えたことでこれまでの苦労が報われた」と語った。

（小野）

海外研修

日本を飛び出して

全代会では、年に1度構成員による海外研修を行い、海外の学生との意見交換を行っている。昨年度の海外研修では、マレーシア工科大学とフィリピン大学デリマ学校を訪れ、各大学の学生組織と交流した。

海外研修の目的は、大学における国際化の推進や、留学生を取り巻く環境の整備であると竹之内美来（化学類3年）は語る。昨年度の海外研修では、留学生の意見と

どのように集約するか、留学生と現地学生との溝をどのように埋めるかについて、各大学の学生組織と意見交換を行った。

経験を糧に

海外研修を終えて、より留学生にとって過ごしやすいキャンパスにしていきたいと竹之内は話す。具体的には、全代会構成員中の留学生の数をさらに増やし、留学生の意見を積極的に集めることができるようにしたいという。そのために、留学生向け学位プログラムにおけるクラス代表制度の策定を進めていきたいと語った。

（龍）



議長挨拶をする林



訪問校で栽培されたマンゴーを試食する竹之内（右から3人目）



文化交流をする竹之内（前列右から3人目）

全代会活動報告

第6回本会議

日時：令和5年12月20日 18時30分

場所：3A204・Microsoft Teams

出欠：出席54

議題1『令和5年度筑波大学学園祭総括報告書の承認について』

【結果】賛成51、保留0、反対0、棄権3
全会一致で可決された。

議題2『2020年度入学生向け筑波大学入
学式の開催について』

【結果】賛成42、保留6、反対2、棄権4
賛成多数で可決された。

第2回意見聴取会

日時：令和6年1月17日 18時33分

場所：3A402・Microsoft Teams

議題1『令和6年度新入生歓迎活動規制』

第7回本会議

日時：令和6年1月24日 18時30分

場所：Microsoft Teams

出欠：出席49

議題1『新歓活動規程の承認について』

【結果】賛成47、保留0、反対0
賛成多数で可決された。

議題2『令和6年度学園祭学生分担金の額及び
納入方法について』

【結果】賛成48、保留0、反対0、棄権1
賛成多数で可決された。

第8回本会議

日時：令和6年2月14日 18時30分

場所：3A204・Microsoft Teams

出欠：出席48 学園祭実行委員1

議題『令和5年度筑波大学学園祭決算報告書の承認について』

【結果】賛成42、保留3、反対0、棄権2
賛成多数で可決された。

第9回本会議

日時：令和6年3月21日 18時30分

場所：3A204・Microsoft Teams

出欠：出席42

議題1『選挙に関する全代会規定の制定につ
いて』

【結果】賛成36、保留3、反対0、棄権3
賛成票が全代会構成員の過半数（40票以上）に
満たなかったため、当該議案は保留になった。

第1回本会議

日時：令和6年5月8日 18時36分

場所：3A204・Microsoft Teams

出欠：出席60

『議長選挙』
【立候補者】近藤拓未（情報科学類3年）

【結果】信任54、不信任5、棄権0
全代会構成員の過半数の信任を得たため、近
藤が議長に選出された。

『副議長選挙』

【立候補者】澁谷耕大（地球学類3年）
桑原侑（国際総合学類2年）

【結果】
澁谷候補：信任55、不信任3、棄権0

桑原候補：信任48、不信任9、棄権1
全代会構成員の過半数の信任を得たため、澁
谷と桑原が副議長に選出された。

第2回本会議

日時：令和6年6月12日 18時30分

場所：3A204・Microsoft Teams

出欠：出席57 監察役2

議題1『令和7年度学園祭開催に関する要
請』

【結果】賛成54、保留0、反対0、棄権3
賛成多数で可決された。

議題2『2023年度決算案』

採決に必要な情報が不足していたため、本議
案は保留された。

議題3『2024年度予算案』

【結果】賛成45、保留8、反対2、棄権2
賛成多数で可決された。

第1回意見聴取会

日時：令和6年6月19日 18時30分

場所：3A402・Microsoft Teams

出席：全代会構成員、学園祭実行委員

議題『筑波大学学園祭一次実行計画書につ
いて』

【結果】賛成44、保留0、反対0、棄権2
賛成多数で可決された。

第3回本会議

日時：令和6年7月10日 18時30分

場所：3A204・Microsoft Teams

出欠：出席47

議題1『学園祭実行計画書の承認について』

【結果】賛成43、保留1、反対0、棄権3
賛成多数で可決された。



No.232
2024年10月1日発行

編集長	大谷 美琴			
発行人	榎本 陽子			
表紙デザイン	副島 祐生			
編集委員	大谷 美琴	川島淳一郎	篠崎 健太	
	佐藤 凌	岡本 翔太	高塚 絢湖	
	榎本 陽子	山下 大樹	鈴木 文麿	
	小野さくら	龍 茂花	北口 遥	
	安東 和光	亀山 杏佳	畠中 真	
	中野 佑	田沼結美子	渡邊 三姫	
	山下 モカ	副島 祐生		
発行	全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議			
	広報委員会			
	https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/			
	(publicity@zdk.tsukuba.ac.jp)			

編集後記

智に働いて角が立ち、情に棹さして流された一年であった。

元々、昨年度末までの任期だったが縁あって今号まで編集長
を担当した。読者への感謝と全代会の益々の発展を願い、編集後
記とさせていただく。ありがとうございました。（大谷）